

財団法人東京顕微鏡院と医療法人社団「こころとからだの元氣プラザ」が 創立者生誕150年を記念し、遠山椿吉賞創設

平成20年7月末日締切で、食品衛生、生活環境衛生、感染症対策の原著論文を募集。

今日いよいよ重要さを増す、食と生活環境の「安全」と「安心」のために、財団法人東京顕微鏡院と医療法人社団「こころとからだの元氣プラザ」は、創業者で初代院長である医学博士遠山椿吉の、公衆衛生向上と予防医療の分野における業績を記念して、遠山椿吉賞を創設しました。公衆衛生の領域において、ひとびとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で優れた業績をあげた個人または研究グループに対し、賞状、記念品及び賞金100万円を贈呈するものです。

賞は、「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」と、「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」の2部門あり、隔年で選考顕彰いたします。平成20年度は、「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」を募集いたします。

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集について：

平成20年度は、食品衛生と、生活環境衛生、感染症対策を重点課題とします。たとえば、腸管出血性感染症（O157）やノロウイルス、鳥インフルエンザなど細菌学、ウイルス学の観点からの研究、アスベストやダニ、カビなど室内環境の研究、感染症と水の問題などです。詳しくは、東京顕微鏡院ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> をご覧ください。

（「遠山椿吉賞」運営事務局 TEL03-5210-6651 担当：三橋）